

多久島嘯風会

しょうふうかい

春の会

時 令和六年四月二十八日(日)

午前十時半始

所 福岡市「大濠公園能楽堂」

福岡市中央区大濠公演一・五

電話(〇九二)七一五・二一五五

ご挨拶

陽春の候、皆様には御清祥の御事と存じ上げます。

舞囃子・仕舞・素謡にと会員一同力を尽くして

日頃のお稽古の成果をご披露致します。

皆様にはご多用の事と存じますが、ご声援賜りますよう

御願ひ申し上げます。

令和六年三月

多
久
島
利
之

多
久
島
法
子

謡組

小袖曾我

(母)江越美智子

(五郎)真崎 千佳

(十郎)中尾 啓子

頼政

前(尉)
後(頼政)

宮地 浩征

(旅僧)長谷川 治

田村

前(童子)
後(坂上田村麿)

加藤 康夫

(旅僧)三隅 浩一

仕舞

胡蝶

蝶

(胡蝶ノ精)中山八珠美

鞍馬天狗

(天狗)真崎 千佳

梅枝

前(里女)
後(富士ノ妻)

富田久躬子

(旅僧) 小池

芳朗

仕舞

大江山

(鬼神) 加藤 康夫

菊慈童

(慈童) 中尾 啓子

屋島

(源義経) 田中佐知子

井筒

前(里女)
後(有常ノ娘)

角

保子

(旅僧) 江越美智子

仕舞

融

(融大臣) 村岡 篤子

遊行柳

(老柳ノ精) 武富 義之

舞離子

須磨源氏

(光源氏) 許斐

裕子

(大鼓) 白坂
(小鼓) 幸

信行
正佳

(太鼓) 吉谷
(笛) 相原

一彦
潔

羽衣

和合之舞

(天人) 大田尾 二子系

(大鼓) 白坂
(小鼓) 幸

信行
正佳

(太鼓) 吉谷
(笛) 相原

一彦
潔

松風

(松風) 高島

智子

(大鼓) 白坂
(小鼓) 幸

信行
正佳

(笛) 相原

一彦

遊行柳

前(尉)
後(老柳ノ精)

武富

義之

(遊行上人) 井上

隆雄

舞囃子

高

砂

(往吉明神)今村

惠

(大鼓)白坂

信行

(太鼓)吉谷

潔

八段ノ舞

(小鼓)幸

正佳

(笛)相原

一彦

紅葉狩

(上臈(実は鬼神の化身))

南

百合子

(大鼓)白坂

信行

(笛)相原

一彦

急ノ舞

(小鼓)幸

正佳

海

士

山

姥

立廻り入

(山姥)田久保泰子

(大鼓)白坂

信行

(太鼓)吉谷

潔

(房前大臣)中尾 啓子

(海女)田中佐知子

(従者)三隅

浩一

番外仕舞

道明寺

(白大夫神)多久島利之

箆

(梶原景季)多久島法子

附祝言

終了予定 午後四時五十分頃

◎ 本日の素謡は左記の如く致します。

田たむら村

シテ一セイヨリワキ「いかにこれなる人へ」

地上歌「今もその、クセ省ク。後ノサシクセ抜

頼よりまさ政

クリ・サシ・クセ省ク。

小袖曾我こそでそが

クリ・サシ・クセ省ク。

梅うめがえ枝

地上歌「西北に省ク。地上歌「或は若有省ク。

井いづつ筒

ワキ「我この寺にヨリ始め。クリ・サシ・クセ省ク。

遊行柳ゆぎようやなぎ

ワキ「急ぎ候ヨリ始め。地上歌「げにさぞな省ク。

クリ・サシ・クセ省ク。

海あ士ま

シテ「海士にて候ニテ止メ。ワキ「いかにへ。

地上歌「げにそれとても省ク。クセ省ク。

玉之段「かくて龍宮ヨリ省クキ、中入ニテ終リ。

神埼「能に親しむ会」

時 令和六年九月八日(日)

午後一時半開演

所 神崎市千代田町

「千代田文化会館」(はんぎーホール)

狂言 未定

野村 万禄

仕舞「通小町」

大槻 文藏

舞雜子「野宮」

多久島利之

合掌留

能 「小鍛冶」

多久島法子

黒頭

主催

嘯

風

会

電話〇九二・八五一・八五〇四

多久島利之

多久島法子